

## 第5回 八代庸子様

ヒアリング実施日時 2022年8月18日(木)

F3.ドローン経歴：2年

F4.年代：30代

F5.血液型：A型

お気に入り写真



### Q1. 現在、ドローンでどのようなお仕事をされていますか。

様々な人にドローンを楽しんでもらったり、触れたことのない人に体験してもらいイベントのお手伝いを中心にお仕事をされています。また、ドローンの撮影の補佐などで、ドローンに携わっています。そして、フリースタイルというジャンルをメインに行っていて、レースにも出たりしています。

イベントは、ドローンを飛ばしたいという方に、空撮会といった飛ばせる場所を提供し、一緒に安全の運用の仕方などを教えながら飛ばしていくというものや、小さなドローンを体験してもらい機会を作り、ドローンを教えるといったものがあるそうです。また、空撮会では、準備から携わっているそうです。

インタビューをした際の直近で行ったイベントは、廃校になった小学校で行ったそうです。基本的に撮影は、安定したドローンで、ゆったりした映像を撮りますが、その時は、FPVドローンといった、ゴーグルで映像を見ながら飛ばすドローンが使われたそうです。また、八代さんは、このFPVドローンを主に使われています。このFPVドローンは、ドローンの中でもスピードが

でるタイプで、また、自分で組み立てなければならぬ、勉強が難しいという面があるため、イベントに参加しているのは男性の方が現在は多いようですが、女性の方も増えているようです。撮影をする際は、ドローンにゴープロを付けて行い、室内用だと屋外より小さくなり、ガードをつけることでさらに安全に飛行させることができるそうです。

今後は、撮影のためのイベントの他に、技術を磨くための練習会や、コミュニケーションを取るための交流会イベントなども作れたら嬉しいそうです。

## Q2. ドローン業界で働く魅力は何ですか。

ドローンの魅力は人が入ること、見ることができない場所に赴くことができ、ドローンを用いて人を助けることにも活用できる場所だそうです。具体的には、ドローンは空撮以外にも高い場所や狭い場所の点検、災害救助といったいざというときに人を助けることに役立つそうです。最近では熊本で遭難された方を捜索する際、ドローンを飛ばして空から捜索した事例があり、人命救助の場においてドローンが活躍する機会があるのだなど実感されたそうです。

ドローンの中でも FPV ドローンについては趣味から始めて操作技術を身に付け、業務へと発達していくような方が多く、裾野を広げるためにもコミュニティが発展していくことが重要であると考えられているそうです。

## Q3. 今のドローンを使ったお仕事で良かったこと、辛かったことは何ですか。

FPV ドローンを操縦しているのですが、ドローンを紹介したときに、興味を持って聞いてもらえたり、是非やってみたいと思ってもらった時は、嬉しいなと思います。この前は FPV ドローンの撮影会という場を作れて、皆さんが喜んでくれた時は、やりがいを感じたそうです。辛かったことはドローンに対する風当たりが強いので、飛ばしていいですかと聞いた時の許可取りに苦労することがよくあるところだそうです。法律面では、法に則り許可を取ることで最終的に許可は取れますが、自治体などにその場所を貸してくださいというときは、万が一のことを考えて断られるケースが多いようです。そのためドローンの飛行実績のある場所で許可取りをすることが多いが、最近では飛行実績のある場所でも断られるケースもあります。飛行できる場所がかなり限られているため、先陣を切って許可を取ってくれた方の情報は大切にしているそうです。

安全にルールを守り飛ばす人との交流、そのようなコミュニティの中で情報を交換しつつ、信頼関係を築いた上でコミュニティ全体が技術向上していくことがベストだと考えているそうです。

**Q4.よかったこと、辛かったことなどを含めて、働く原動力は何ですか。**

FPVドローンを使用したドローンレースやフリースタイルが好きで、楽しく飛ばしたいというのが原動力にあります。このようなニッチな部分で飛ばしている人に少しでも注目が集まれば良いなと感じているそうです。そのためにはさまざま人にFPVドローンを広めていきたい。普通のドローンに比べて操作が難しいので現状では業務においてもトップレーサーの方が空撮を行っています。FPVドローンが社会で受け入れられるような形で活躍してくれれば裾野も広がると思っているそうです。法律面でも認知されないとなかなか緩和されない部分があるので、飛ばせる機会ができるだけ大きくなるように社会でFPVドローンが活躍していくような助けになる活動をしたいと思っているそうです。

**Q5.ドローンは将来性があると言われていますが、どんな期待を寄せていますか。**

ドローンだけの目線かというと産業的には自動飛行がメインになると想定しています。FPVドローンに関しては人の目の変わりになるため、入り組んだ場所での災害救助や狭所点検など操作性の高さが求められる現場で活躍していけるのではないかとおっしゃっていました。そのような所でドローンの必要性やドローンパイロットとしての本領が発揮できればいいなと考えているそうです。